

(別紙)

2025年度（令和7年度）幼稚園評価自己評価表

最終更新日	2025年（令和7年） 4月 11日
-------	--------------------

園番 33	福山市立 新涯 幼稚園
-------	-------------

1 幼稚園教育目標

感性豊かに生き生きと遊び、ともに育ちあうこどもを育てる

2 目指す自園の幼稚園像（ビジョン）

- ・笑顔で登園し、元気いっぱい遊ぶことができる幼稚園
- ・小学校へ向けて「幼児教育において育みたい資質・能力」を育てる幼稚園
- ・教師が資質向上に努め、協同して教育推進に努める幼稚園
- ・保護者や地域の人に信頼され、安心してこどもを預けることができる幼稚園

3 目指す幼児像

- ・自分らしくのびのびと遊ぶこども
- ・自分で考え行動することも
- ・好奇心豊かでやさしいこども

4 自園の現状分析（地域環境・園の環境・幼児観・保護者、地域との連携協力・現状課題など）

本園は福山市郊外の田園地域であったが、近年都市化が進み、事業所や商業施設、住宅が立ち並び、こどもをとりまく環境は年々変化してきている。少子化、核家族化が進む中ではあるが、利便性のよさから学区内、近隣学区は子育て世代が多く、入園を希望する児童数は増加傾向にある。

本園のこどもは、身近な環境に気が付いて興味をもってふれようとしたり遊びに取り入れたりする姿がある。一方で、自分の思いを表現しにくく、友だちとのかかわり方が分からないなど多様な実態がみられ、多くが個別の支援を必要としている。感動的な体験が少ないため、身近な事象に興味や関心をもって、自ら働きかけようとしたり、根気強く取り組んだりすることに消極的な姿がみられる。

保護者は、子育てに不安を抱えながら入園する家庭も少なくないが、相談できる場ができたことで園や保護者間での信頼関係づくりにもつながり、協力的である。近年は未就園児の会の参加者が増え、地域の子育て支援の場としての役割も担っている。そこで、保護者をはじめ、隣接する新涯小学校との連携、近隣に残る田やクワイ畑農家、老人会等地域の協力を得ながら、一人一人のこどもが充実して遊べる環境の工夫や支援を行い、自分から環境に働きかけ、それらのかかわりに喜びや面白さを感じ、自分で考え、いろいろな方法で伝え合い、友だちと一緒に粘り強く行動できる主体的なこどもに育てていくことが本園に課せられた使命である。

5 今年度の重点目標と設定理由（ビジョン実現のために）

重 点 目 標	設 定 理 由
・遊びの充実を通して主体的に行動する力や人とのかかわる力を育てる。 ・身近な自然や物とのかかわり、感動体験を通じて、協同的な活動の中で創造的な思考力や豊かな心を育てる。 ・実践力を高めるため自主的な研究に取り組む。	・幼児が、友だちや教師とのかかわりの中で安定し、自分の思っていることや考えていることを話したり、共に遊びを考えたりし、楽しく充実した生活を進めていけるようになるため。また、互いのよさをわかり、我慢したり、気持ちを切り替えたりしながら、楽しく遊びを進めることができるようになるため。 ・物やこと、自然に興味を持ち、不思議さやおもしろさを感じ集中して根気強く取り組んだり、試したり工夫したりすることによる協同的な活動を通して、学びの基礎的な力を培いたいため。 ・主題「感性豊かに生き生きと遊び、ともに育ちあうこどもを育てる」、副題として「心もちを察しながら遊びを見取り、思いをつなぐ援助のあり方」について研究を進めるため。12月4日（木）広島県国公立幼稚園・こども園研究大会（広島大会）

(別紙)

目標・方策・評価

2025年(令和7年) 4月

	3年間の目標	1年間の目標	具体的な方策	評価 (学期)	評価結果
					○＝反省や課題 ◎＝改善のための方策
生きる力の基礎	身近な環境に自ら関わり、それらを生活に取り入れていこうとするようになる。	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心がもてるようになる。	・幼児自ら興味をもち「やってみたい」と働きかけることができるよう、季節に応じて戸外遊びの環境を工夫する。 ・活動を楽しむ中で、発見や考えることの楽しさを味わい、あきらめずにやり遂げることで達成感が味わえる取組を行う。		
	自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。	体を十分に動かし、進んで外遊びや運動をしようとする子が増える。	・期のねらいをもとに、幼児の興味関心を捉えながら、体を十分に動かして遊ぶ経験ができる環境を工夫する。		
		遊びや生活の中で、安全で楽しく過ごすために必要なきまりを友だちと考えながら、行動できるようになる。	・身の回りの始末や片付けを自分で行うことや、物を大切に扱うことの大切さに気付くように促す。 ・友だちと楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする態度が育つよう促す。		
	人とのかかわりに慣れ、自分の感じたこと、考えたこと、思ったことを表現できる力をつける。	気持ちの良いあいさつができるようになる。	・あいさつの言葉を登園時や生活の場などで使うよう促し、日常的に出来たことを認める声かけをする。		
		絵本の読み聞かせ等、楽しい集いの中で、言葉に親しみ、先生や友達の話を聞こうとする意識がもてるようになる。	・発達年齢や興味関心に応じた絵本の読み聞かせ等を毎日行い、集いに興味をもって聞ける環境を整える。 ・日常的に見たこと、感じたこと、自分にしてほしいことなどを言葉で伝えることができるよう促す取組を行う。		
教師の役割	幼児が興味を持ってかわっていける環境を構成する。	物・人・事とのかかわりに面白さを感じ、意欲を引き出し、興味・関心が広がったり深まったりする環境を工夫する。	・日々の遊びの中での幼児の姿から、心もちを理解した環境構成の工夫を行い、週日案に提示する。 ・週2回(火・木)の暮会で、幼児の姿の見取りを職員間で共有し、明日の保育につながる連携を行う。		
	幼児の発達を捉えた保育内容を工夫し実践する。	教育課程に沿って、幼小の接続、3年間を見通した保育実践のために、教育計画の立案、実践、評価をする。	・幼児の育ちの現状をふまえ、教育課程に沿って期ごとの教育計画を立案し、実践を通して幼児の育ちをよみとり、評価する。		
		幼児がともに育ちあうための保育実践・研究を深める。	・幼児の育ちを捉えた保育記録をおこない(写真ドキュメンテーション・エピソード・動画等)実践に活かしていく。		
信頼される幼稚園	保護者・地域に新涯幼稚園の教育内容への理解を進める。	教育内容や成果を保護者・地域に「たより」やホームページ等の配信で知らせていく。	・保護者へ「園だより」「クラスだより」等で期ごとの目標や育っている力について知らせる。「地域だより」を每学期1回発行する。園ホームページで取組状況について随時発信する。		
	子育ての喜びや楽しさを感じることができるよう親への支援をする。	懇談会、教育相談日など子育て交流の場を計画的に設け、子育てについて思いを共有し支援をはかる。	・保護者懇談会、教育相談日、また、毎月1回の末就園児の会「びよびようんど」園庭開放等を計画的に実施する。日常的な教育相談につながるよう内容を工夫して行う。		

※【評価】 Aー達成した Bーほぼ達成する Cーじゅうぶん達成していない Dー達成していない 【生きる力の基礎】ー健康・人間関係・環境・言葉・表現【教師の役割】ー計画的な環境構成・活動場面における教師の役割・人材育成【信頼される幼稚園】ー情報提供・他の公共機関との連携・幼児と地域住民との人間関係づくり・教育相談